

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一環もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 25年 7月 12日

職業: 配管工 経験年数: 2年
年齢: 24

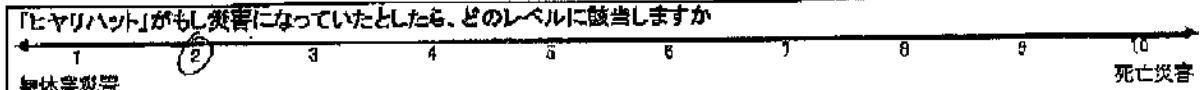
「ヒヤリハット」したこと

いつ (6) 月頃 どこで (この現場, 他現場) どのような場所で ()

どのような体験か(当てはまるものに1つOしてください)			体験の状況図 (図は別紙記載でも可)
1 墜落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった	
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった	
3 機械等に激突されそうになった	7 はさまれそうになった	11 交通事故になりそうだった	
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他()	

「ヒヤリハット」の内容
交通事故
どのような作業で?
現場へ向かう途中
何をしようとしていた時?
作業車運転中、前の車が「ハイカー」を出す際に左折して減速していた。
どうなったか?
同乗者から声をかけられ、回避できた

発生原因(考えられるもの全てにOしてください)			5 連絡・連携ミスがあった
1 設備・機械に問題があった	6 知識が不足していた	7 よく考えずに行動してしまつた	8 考え事をしていた
2 工具・保護具に問題があった	9 よく見えなかった		
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった			
4 作業方法に問題があった			



「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

周りを良く確認し、急ぐ余裕をもって運転する。

以下、当てはまる番号に1つOしてください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさん仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
向き不向きがある	1	2	3	4
気分が晴れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください 1/2

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができる	1	2	③	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	③	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	③	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	2	③	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	2	③	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	③	4
同僚	1	2	③	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちちはつらつとしている	1	②	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	②	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	②	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	③	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	②	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	②	3	4
何かが起こりそうな予感があった	①	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	②	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	②	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	④
安全帯などの保護具に助けられた	①	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	①	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	③	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>厚い石枠をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と頼方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ○)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話を	12 危険箇所の見える化	22 懇話会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 休憩
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。

この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。

記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者までご連絡ください。

後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名

連絡先

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 2023年 7月 5日

職種: 警備	経験年数: 10
年齢: 23	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (7) 月頃 どこで (この現場, 他の現場) どのような場所で (倉庫)

どのような体験か(当てはまるものに1つ○してください)			体験の状況図 (図は別紙記載でも可)
1 墜落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった	
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった	
3 機械等に激突されそうになった	7 ばさまれそうになった	11 交通事故になりそうだった	
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他()	

「ヒヤリハット」の内容

どのような作業で? 社用車で移動中

何をしようとしていた時? 2

どうなったか? 子供が飛んできて足に刺さった。

発生原因(考えられるものを全てに○してください)		5 連絡・連携ミスがあった
1 設備・機械に問題があった	6 確認が不足していた	7 よく考えずに行動してしまった
2 工具・保護具に問題があった	8 考え事をしていた	9 よく見えなかった
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった	9 よく見えなかった	
4 作業方法に問題があった		

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

← 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 →

無休業災害 死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

かまいたな 厚紙を心のけし

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

＜背後要因＞	そうだ	まあそうだ	ややもちろ	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

＜あなたの状態＞	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をするのも面倒だ	1	2	3	4
気分が暗れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちちはつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていただけで予測できた	1	2	3	4
向かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

除いた後

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます

(当てはまる番号に1つ〇)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の助言	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事柄の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名

連絡先

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。

記入日: R5年 7月 25日

職種: <u>舗装工</u>	経験年数: <u>30年</u>
年齢: <u>48</u>	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (7) 月頃 どこで (この現場, 他の現場) どのような場所で (AFの降除をする時)

どのような体験が(当てはまるものに)1つOしてください

- | | | |
|------------------|------------------|---------------------------------|
| 1 感寒しそうになった | 5 ものが倒れかかってきた | 9 やけどしそうになった |
| 2 転倒しそうになった | 6 自分からぶつかりそうになった | 10 感電しそうになった |
| 3 機械等に激突されそうになった | 7 はさまれそうになった | 11 交通事故になりそうだった |
| 4 ものが落下してきた | 8 切られそうになった | 12 その他 () |

体験の状況図
(図は別紙記載でも可)



「ヒヤリハット」の内容

どのような作業で? AFを解用いて舗装を行っている時。

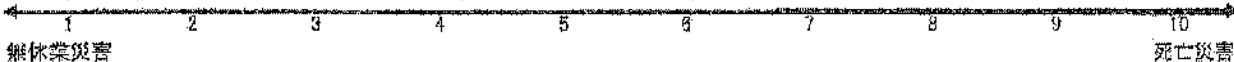
何をしようとしていた時? AFのホッパー内の合材を作業員が降除しようとした際、

どうなったか? 前方に4mダンプが施工サイトを越えようと段差を乗り越えていた。段差を越えようとした時に思いがけず後退する恐れがあった。

発生原因(考えられるもの全てにOしてください)

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 設備・機械に問題があった | 5 連絡・連携ミスがあった |
| 2 工具・保護具に問題があった | 6 確認が不足していた |
| 3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった | 7 よく考えずに行動してしまった |
| 4 作業方法に問題があった | 8 考え事をしていた |
| | 9 よく見えなかった |

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか



「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

ダンプが前進したことを確認してから作業を始める。
十分

以下、当てはまる番号に1つOしてください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	2	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	3	4
一生懸命働かなければならなかった	1	2	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	2	3	4
へとへとだ	1	2	3	4
だるい	1	2	3	4
気がはりつめている	1	2	3	4
不安だ	1	2	3	4
落ち着かない	1	2	3	4
ゆううつだ	1	2	3	4
何をやるのも面倒だ	1	2	3	4
気分が清れない	1	2	3	4
食欲がない	1	2	3	4
よく眠れない	1	2	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややらがり	ちがう
自分のペースで仕事ができた	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方向に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちちはづらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっさの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例> 重い石材をペニーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

自分の前の状況が非常に危険に見えたのでとっさに大声が出た、すぐにAとBとの間から退避させた。

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます

(当てはまる番号に1つ0)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周回の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	29 かつらげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- ・この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- ・この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- ・記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- ・後日、この報告に関するヒアリング

新ヒヤリハット報告

ヒヤリハットは災害の疑似体験というだけでなく、災害に至る前にリカバーした貴重な成功体験の一面もあります。あなたが過去1年間に体験したヒヤリハットをこれからの労働災害防止活動に役立てるため、ありのままを記入してください。 記入日: 5年7月26日

職種: 理床	経験年数: 12
年齢: 36	

「ヒヤリハット」したこと

いつ (7) 月頃 どこで (この現場、他の現場) どのような場所で (歩道等)			体験の状況図 (図は別紙記載でも可)
どのような体験か(当てはまるものに1つ○してください)			
1 墜落しそうになった	5 ものが倒れかかってきた	9 やけどしそうになった	
2 転倒しそうになった	6 自分からぶつかりそうになった	10 感電しそうになった	
3 機械等に激突されそうになった	7 はさまれそうになった	⑪ 交通事故になりそうだった	
4 ものが落下してきた	8 切られそうになった	12 その他()	
「ヒヤリハット」の内容			
どのような作業で? 社用車運転中、			
何をしようとしていた時? 車道から歩道を横切つて駐車場に入ろうとし			
どうなったか? 自転車と接触しようとした。			
発生原因(考えられるもの全てに○してください)			
1 設備・機械に問題があった	5 連絡・連携ミスがあった		
2 工具・保護具に問題があった	⑧ 確認が不足していた		
3 現場の作業環境(騒音、照明、温度、換気など)に問題があった	7 よく考えずに行動してしまった		
4 作業方法に問題があった	8 考え事をしていた		
	9 よく見えなかった		

「ヒヤリハット」がもし災害になっていたとしたら、どのレベルに該当しますか

←	1	2	3	4	⑤	6	7	8	9	10	→
	無休業災害										死亡災害

「ヒヤリハット」を防ぐ対策(このヒヤリハットを防ぐために、どのような対策が必要だと考えますか)

一旦停止、周囲の確認。

以下、当てはまる番号に1つ○してください(各項目で選択肢が異なっているので、よく読んで回答してください)

<背後要因>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
非常にたくさんの仕事をしなければならなかった	1	②	3	4
時間内に仕事が処理しきれなかった	1	2	③	4
一生懸命働かなければならなかった	1	②	3	4

<あなたの状態>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
ひどく疲れた	1	②	3	4
へとへとだ	1	2	③	4
だるい	1	②	3	4
気がはりつめている	1	②	3	4
不安だ	1	②	3	4
落ち着かない	1	2	③	4
ゆううつだ	1	②	3	4
何をやるのも面倒だ	1	②	3	4
気分が晴れない	1	②	3	4
意欲がない	1	②	3	4
よく眠れない	1	②	3	4

裏面にも記入してください

<あなたの仕事について>	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
自分で仕事の順番・やり方を決めることができた	1	2	3	4
職場の仕事の方針に自分の意見を反映できた	1	2	3	4

<あなたの周りの方々について>	非常に	かなり	多少	全くない
次の人たちはどのくらい気軽に話ができますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたが困った時、次の人たちはどのくらい頼りになりますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4
あなたの個人的な問題を相談したら、次の人たちはどのくらい聞いてくれますか				
上司	1	2	3	4
同僚	1	2	3	4

<あなたの仕事について>	ほとんどなかった	ときどきあった	しばしばあった	ほとんどいつもあった
職場では、気持ちがはつらつとしている	1	2	3	4
自分の仕事に誇りを感じる	1	2	3	4
仕事に集中しているとき、幸せだと感じる	1	2	3	4

<「ヒヤリハット」が事故や災害に至らなかった理由>	全くなし	あまりなし	多少あり	非常にある
知識や経験を活かすことができた	1	2	3	4
体力があった(運動神経がよかった)	1	2	3	4
状況がいつもと違っていたため予測できた	1	2	3	4
何かが起こりそうな予感がした	1	2	3	4
周りに注意を払っていた	1	2	3	4
とっきの機転が利いた(知恵が働いた)	1	2	3	4
リーダーや仲間から声を掛けられた(とっさに注意された)	1	2	3	4
安全帯などの保護具に助けられた	1	2	3	4
警告ブザーなどの機械設備に助けられた	1	2	3	4
偶然に助けられた	1	2	3	4

あなたの「ヒヤリハット」が事故・災害にならずに直前で回避できたのは、なぜですか

<例>厚い石材をベビーサンダーで切断加工中、サンダーがはねて頭に当たりそうになったが、「サンダーははねて危ない」と親方から教えられていたこともあり、体を斜めに構えていたため、ケガをせずに済んだ。

自転車で急いでいた為

「ヒヤリハット」が事故や災害にならず直前で回避するのに役立ったと思われる活動についてうかがいます
(当てはまる番号に1つ〇)

1 過去のヒヤリハット体験	11 危険体感教育	21 リーダーや仲間とのコミュニケーション
2 同僚や先輩の話	12 危険箇所の見える化	22 懇親会・レクリエーション
3 安全衛生教育での講話	13 安全標識の設置	23 体操
4 現場での朝礼、夕礼	14 4S(整理・整頓・清掃・清潔)	24 安全表彰
5 現地ミーティング	15 避難訓練	25 バランスのよい食事
6 日々のKY活動	16 作業状況の監視	26 悩みを相談
7 危険予知訓練	17 周囲の状況把握	27 よい睡眠
8 リスクアセスメント	18 人への目配り	28 くつろげる休憩時間と場所
9 災害事例の周知	19 機械設備の点検	
10 現場パトロール	20 作業手順書の周知	

ご協力ありがとうございました。

- この報告で回答された内容は、現場の災害防止のために役立てられます。
- この情報は、個人が特定されることのないよう厳正に取り扱われ、回答した個人の不利益につながることはありません。
- 記入方法がわからない場合は、ヒヤリハットとりまとめ担当者まで連絡ください。
- 後日、この報告に関するヒアリングに協力いただける方は、所属・氏名、連絡先をお知らせください。

所属・氏名 _____ 連絡先 _____